

令和2年度 学校評価表

府中市立第一中学校

1 学校教育目標

「世界や地域や未来に目を向け、力強く挑戦し続ける生徒の育成」

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し、子どもたちが就くことになる職業の在り方についても、現在とは様変わりすることが指摘されている。我が国の将来を担う子どもたちには、こうした変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、広い視野を持つ人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、力強く挑戦し続けることが求められている。

2 経営理念

- 校長を中心とした組織体制と主任・主事等のリーダーシップにより、全教職員で、「方向性の共有化と組織性・計画性の向上」を図り、学校教育目標の実現をめざす。
- 法令・法規等に則った職務遂行と、報告・連絡・相談の徹底による危機管理に努め、「安心・安全・信頼」を確保する。
- 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」をめざす。

3 研究主題

(1) 学園研究主題

義務教育9年間を見通した資質・能力の育成
～併設型小・中学校の特色を生かしたカリキュラム開発～

(2) 本校研究主題

生徒の主体性を育む授業づくり
～ICT等を活用した対話的な授業展開の工夫を通して～

4 今年度の重点目標及び設定理由

重点目標	設定理由
知 高い志を持ち、自ら求めて主体的に学習する生徒	高い志を持たせる取組等を継続的に行うとともに、規律正しく学び合える授業づくりと家庭学習を定着させる指導を行い、自ら学ぶ力を身に付けさせる。
徳 思いやりを持ち、互いに助け合い励まし合える心豊かな生徒	他者意識に立った言動をとることにより、共感的人間関係が育まれ、安心で安全な学校生活が実現する。日々の授業や、学級活動・学校行事・生徒会活動等を通して、思いやりを持って人とかわるることのできる心を育てる。また、身のまわりの環境をよりよくしようと自ら動ける行動力を身に付けさせる。
体 心身を鍛え、自ら考え、判断し、正しく行動できる自律した生徒	「心と体は一体」と捉えたとき、体育授業や部活動等を通して体力の向上を図ることは、より正しい判断・行動のできる生徒を育てることにもつながる。目標達成に向けて、自他を頑張らせることのできる心と体のたくましさを身に付けさせる。

5 評価基準

<目的値の達成>	4・・・90%以上 3・・・70%以上～90%未満 2・・・40%以上～70%未満 1・・・40%未満
----------	--